



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー

コード番号 3054 URL <https://www.hyperpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 望月 真貴子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 江守 裕樹 TEL 03-6855-8180

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	9,225	8.1	183	354.0	155	269.6	86	-
2023年12月期第3四半期	8,532	6.2	40	75.7	42	64.9	0	-

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 87百万円 (-%) 2023年12月期第3四半期 4百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	8.95	8.89
2023年12月期第3四半期	0.10	0.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	7,171	2,786	38.2	284.33
2023年12月期	7,281	2,767	37.3	282.15

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,740百万円 2023年12月期 2,718百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	3.50	-	3.50	7.00
2024年12月期	-	3.50	-		
2024年12月期 (予想)				3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	9.7	250	106.0	250	97.5	198	150.8	20.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	9,860,500株	2023年12月期	9,855,300株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	221,308株	2023年12月期	221,308株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	9,858,223株	2023年12月期3Q	9,717,464株

(注) 期末自己株式数には、「三井住友信託銀行株式会社 (信託口) (再信託受託者: 株式会社日本カストディ銀行 (信託口))」が保有する当社株式118,900株が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな景気回復が続いております。個人消費は、一部に足跡が残るものの、国内旅行の回復や外食の増加等サービス消費に持ち直しの動きがみられました。企業の設備投資は、製造業を中心にコロナ禍や物価高により先送りしてきた更新投資や人手不足の問題を解決するための省人化・省力化投資等を背景に、好調に推移しました。特にIT投資については、金融業や製造業を中心に幅広い業種で投資意欲が高い状態にあり、好調に推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、ソリューション営業の強化、顧客開拓と関係強化、ストックビジネスの強化、セキュリティサービスの開発、子会社との相乗効果の最大化などに注力してまいりました。また、業務プロセスの効率化を図り、収益力を向上させ、利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,225,687千円（前年同期比8.1%増）、経常利益は155,692千円（前年同期比269.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は86,226千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益925千円）となりました。

各セグメント別の営業の概要は次のとおりであります。

#### ① ITサービス事業

ITサービス事業においては、堅調な企業収益を背景に、法人市場では幅広い業種でIT分野での投資意欲は高い状態が継続いたしました。また、2025年10月に予定されているWindows10の延長サポートの終了に合わせた買い換え需要が徐々に顕著化しているほか、コロナ禍でのテレワークの促進に合わせて導入されたノートPCの買い換えや、新たに登場しているAI PCへの関心の高まりなどが影響し、法人向けパソコンについては出荷台数、出荷金額ともに前年を上回り、好調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループでは、企業のIT部門が直面する課題を解決するため、お客様に代わりPCやサーバーの調達、設置、設定、セキュリティ対策、運用管理をサポートする情報システムサービスを「ビジネスコネクスト」としてブランド化し、業界問わず中小企業から大企業まで幅広い支援に注力してまいりました。

売上高は、パソコンをはじめとしたハードウェア機器販売の出荷台数が昨年度を大きく上回ったことで、好調に推移いたしました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により、好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は8,156,263千円（前年同期比8.8%増）、営業利益は365,482千円（前年同期比23.4%増）となりました。

#### ② アスкулエージェント事業

従来型オフィス用品（オフィス家具等）に対する需要の伸び悩みや中小企業の需要回復の遅れがあるものの、日用品関連が引き続き好調を持続し、また、優良顧客の開拓及びインターネット広告を活用した顧客の流入拡大や取引先の稼働促進など営業活動を強化したことで、売上高は、前年同期に対し、順調に推移いたしました。利益につきましては、販売費が前年同期に比べ減少したことなどもあり、好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,026,467千円（前年同期比3.0%増）、営業利益は355,832千円（前年同期比56.6%増）となりました。

#### ③ その他

当社グループは、就労移行支援事業を運営しており、一般企業への就職を目指す障害のある方を対象に職業訓練・就労支援に関するサービスの提供を行っております。ハローワーク、相談支援事業所に対する周知活動やSNSの活用により集客活動を継続的に行うことや、イベント、セミナーなどを実施することで、事業所の認知拡大を図りながら利用者数の確保に努めております。

以上の結果、売上高は42,956千円（前年同期比16.1%増）、営業利益は7,329千円（前年同期比216.6%増）となりました。

（注）各セグメントの売上高は、セグメント間の内部取引を除いた金額を記載しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### （総資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて110,384千円減少し、7,171,140千円となりました。

流動資産の残高は6,485,394千円となり、前連結会計年度末と比べ114,799千円の減少となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」及び「商品」が増加したものの「現金及び預金」が減少したことによるものです。

固定資産の残高は685,746千円となり、前連結会計年度末と比べ4,414千円の増加となりました。これは主に「投資有価証券」が減少したものの「のれん」が増加したことによるものです。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて129,221千円減少し、4,384,990千円となりました。

流動負債の残高は3,858,079千円となり、前連結会計年度末と比べ124,425千円の減少となりました。これは主に「短期借入金」が減少したことによるものです。

固定負債の残高は526,911千円となり、前連結会計年度末と比べ4,796千円の減少となりました。これは主に「長期借入金」が減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、「利益剰余金」の増加等により、前連結会計年度末と比べ18,836千円増加し、2,786,149千円となりました。この結果、自己資本比率は38.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきまして、2024年7月30日付「第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2024年12月期の業績予想に変更はありません。

なお、当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。業績の実績は、今後の様々な要因の変化により、当業績予想と乖離する可能性があります。予想の修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,536,033	2,332,649
受取手形及び売掛金	3,209,823	3,247,810
電子記録債権	131,444	142,498
商品	458,510	509,862
仕掛品	158,549	113,846
その他	111,632	144,517
貸倒引当金	△5,800	△5,790
流動資産合計	6,600,193	6,485,394
固定資産		
有形固定資産	17,380	29,913
無形固定資産		
のれん	57,818	71,218
その他	287,581	277,959
無形固定資産合計	345,400	349,177
投資その他の資産		
投資有価証券	92,639	41,218
繰延税金資産	68,355	59,230
その他	234,369	283,537
貸倒引当金	△76,814	△77,331
投資その他の資産合計	318,550	306,654
固定資産合計	681,331	685,746
資産合計	7,281,524	7,171,140
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,831,799	2,830,762
短期借入金	450,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	240,840	237,360
リース債務	7,798	10,412
未払法人税等	36,001	52,220
前受金	32,006	60,648
賞与引当金	79,902	72,413
その他	304,156	244,262
流動負債合計	3,982,504	3,858,079
固定負債		
長期借入金	335,490	255,200
リース債務	17,937	21,837
役員株式給付引当金	35,636	41,144
役員退職慰労引当金	62,591	73,850
退職給付に係る負債	40,305	40,617
繰延税金負債	4,350	4,956
資産除去債務	34,949	36,124
その他	447	53,180
固定負債合計	531,707	526,911
負債合計	4,514,212	4,384,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	572,374	573,977
資本剰余金	570,301	571,904
利益剰余金	1,653,995	1,671,933
自己株式	△88,312	△88,312
株主資本合計	2,708,359	2,729,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,857	11,235
その他の包括利益累計額合計	9,857	11,235
新株予約権	49,095	45,410
純資産合計	2,767,312	2,786,149
負債純資産合計	7,281,524	7,171,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,532,270	9,225,687
売上原価	6,125,701	6,707,041
売上総利益	2,406,569	2,518,645
販売費及び一般管理費	2,366,065	2,334,779
営業利益	40,503	183,865
営業外収益		
受取利息	276	369
受取配当金	871	944
広告料収入	1,200	900
協賛金収入	2,662	5,377
その他	2,547	2,433
営業外収益合計	7,558	10,024
営業外費用		
持分法による投資損失	-	33,432
支払利息	5,783	4,675
その他	155	90
営業外費用合計	5,938	38,197
経常利益	42,123	155,692
特別利益		
新株予約権戻入益	2,132	484
投資有価証券売却益	11,550	-
特別利益合計	13,682	484
特別損失		
固定資産売却損	4,263	-
特別損失合計	4,263	-
税金等調整前四半期純利益	51,542	156,176
法人税、住民税及び事業税	34,732	55,214
法人税等調整額	15,884	14,735
法人税等合計	50,617	69,950
四半期純利益	925	86,226
親会社株主に帰属する四半期純利益	925	86,226

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	925	86,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,218	1,377
その他の包括利益合計	3,218	1,377
四半期包括利益	4,143	87,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,143	87,604

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	63,555千円	70,247千円
のれんの償却額	10,840	11,676

## （企業結合等関係）

## （株式取得による企業結合）

当社は、2024年8月1日に司コンピュータ株式会社の全株式を取得し完全子会社化することについて、当該会社の全株主と株式譲渡契約を締結し、同日に全株式を取得いたしました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	司コンピュータ株式会社
事業の内容	情報システム設計・開発、コンピュータ運用・保守、およびネットワーク管理業務

## (2) 企業結合を行った主な理由

当社は、法人のお客様を対象にコンピュータ本体やソフトウェア、周辺機器などを販売する「ITサービス事業」を中核に「インフラ構築」「オフィスプランニング」「アスクルエージェント」等、企業をトータルにサポートする幅広いビジネスを展開しています。

当社グループは、当社及び子会社5社で構成され、1990年の設立以来、「ユーザーニーズ実現企業」という経営理念を掲げ、法人のお客様を対象として、コンピュータをはじめとする情報機器の販売を中心に、アスクル代理店業務、サプライ製品販売、ネットワーク設計・構築、システム保守、ヘルプデスク、ソフトウェア受託開発など、お客様のニーズに応えるべく様々なサービスを展開してまいりました。

司コンピュータ株式会社は1998年の設立以来、主にネットワークおよびサーバー等インフラ機器に関する設計・構築、運用管理・保守・監視など、ITインフラやコンピュータシステムの運用関連業務を中心に事業を展開してまいりました。

今後は両社が保有する顧客基盤、技術、人材などのリソースを効果的に補完しあうことで、エンジニアリングサービスの強化、売上拡大を目指すとともに、高品質で安定したサービスの提供によって、これまで以上にお客様のニーズに応えられるよう努めてまいります。

## (3) 企業結合日

2024年8月1日

## (4) 企業結合の法的形式

株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年8月1日から2024年9月30日

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	86,862千円
取得原価		86,862千円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 30,940千円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん金額

25,076千円

## (2) 発生原因

主に、今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

## (3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	119,220千円
固定資産	60,835 "
資産合計	180,055 "
流動負債	59,517 "
固定負債	58,752 "
負債合計	118,269 "

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	I Tサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,498,893	996,388	8,495,282	36,987	8,532,270	-	8,532,270
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,498,893	996,388	8,495,282	36,987	8,532,270	-	8,532,270
セグメント利益	296,122	227,153	523,275	2,315	525,590	△485,087	40,503

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△485,087千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	I Tサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,156,263	1,026,467	9,182,730	42,956	9,225,687	-	9,225,687
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,128	218	3,347	-	3,347	△3,347	-
計	8,159,392	1,026,685	9,186,077	42,956	9,229,034	△3,347	9,225,687
セグメント利益	365,482	355,832	721,315	7,329	728,645	△544,779	183,865

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△544,779千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社費用であります。